

ローカル10,000プロジェクト東大阪市の地域課題

	所属名	地域課題	民間事業者に期待される事業の例
1	企画財政部企画室企画課	本市では、ふるさと納税をととして市の魅力発信を行い、関係人口の拡大に取り組んでいるところである。今後、更に多くの人に東大阪市を寄附先として選択してもらうためには、東大阪の魅力が詰まった新たなヒット商品を開発することが必要である。	・東大阪市ならではの資源を活用した新たな地場産品を開発、生産することにより、ふるさと納税のお礼品としてだけでなく、市の来訪者に訴求する新たなお土産品となり得るお礼品の開発により、市内経済の活性化、関係人口の増加につながることを期待したい。
2	都市魅力産業スポーツ部商業課	東大阪市の多くの商店街では、空き店舗が増加して商店街のにぎわいが喪失しつつある。商業課では、3か月以上空き店舗となっている商店街内の物件で開業を目指す方向けに空き店舗活用促進事業（補助上限80万円、補助率1／2）を行っているが、商店街で1店舗が開業しても商店街の活性化としての効果は限定的である。 商店街においては、1階店舗で2階住居となってる建物が多くある。多くの場合、1階店舗を廃業した場合でも、2階が住居部分となっているため、店舗部分と生活部分が同じで貸し出されない店舗があり、そういった店舗は恒常的に空き店舗となる。	・多くの空き店舗を抱える商店街において、例えばサブリースなどを活用し、一括で店舗を改修することで5店舗以上の店舗を同時に開業するなど、空き店舗解消の新しい起爆剤となるような取り組みを期待したい。（一般的な空き店舗活用対策ではなく、新たな取組であること）
3	都市魅力産業スポーツ部国際観光室	生駒山は大阪都市圏から気軽にアクセスできるため多くの登山客が訪れているが日帰り利用が中心で、登山客の観光消費に結びついていない。 また、生駒山には複数のハイキングコースが存在し、様々な駅からアプローチできる反面、ハイカーと地域商業との接点となる拠点が存在しない。	・生駒山の玄関口となる施設の整備 ・ハイカー向けゲートウェイ整備により、滞在時間の延長、観光消費額の増加、周辺観光地への周遊促進地域活性化が期待できる。
4	交通戦略室	駅やバス停までのアクセスが不便な地域がある。 公共交通を利用したいときに利用できない市民がいる。	・乗合交通システムを搭載した車両による乗合交通事業
5	交通戦略室	バスの運転手の高齢化や運転手が不足している。 安定した需要の確保が困難である。	・自動運転移動サービスの社会実装
6	交通戦略室	バスの運転手の高齢化や運転手が不足している。 公共ライドシェアの運行にかかる運転手の確保が困難である。	・バスの運転手・公共ライドシェアの運転手の雇用にかかる就労支援事業